

オランダから来た友人と話していたとき、私は、ドイツでは受験勉強が厳しいときが本当にそうなのか、また、オランダはドイツの隣国であるが、その点はどうなのかとたずねた。そのオランダの学者は、ドイツの学校はいろいろであって、一般論をいうのはむずかしいと何度も前置きをして、しかし、オランダ人の通念からすると、ドイツ人はしつけ（デインプリン）を重んじ、勤勉（ハードワーク）を好むが、しつけと勤勉は、オランダ人の最も好まないことばであると答えた。しつけは機械的な訓練であって、それはオランダ人の好まないことであり、オランダ人は何よりも、自由を愛するとのことであった。日本人の見方からすると、一生懸命に働くこと、すなわち、勤勉は、何の疑いもなく良いことであらう。しかし、別の見方からすれば、勤勉は、人の中の何かたいせつなものを失うことでもあるという。そして、しつ

けと勤勉は切り離すことのできないものである。オランダ人から見ると、日本人は、しつけと勤勉を愛するように見えるらしい。もちろん、これは通念であって、日本人にもいろいろの人がいるからこの通念が実際に当たっているかどうか分らないがと、また何度も前置きをして、もう一つ、オランダ人から見ると、日本人は集団人（グループビープル）であるという。何かの目的に向って、皆がひとつになつて働くところは、目的は見えるけれども、人は見えなくなつてしまふ。それは能率をあげるのにはいいかもしれないけれど、人の人生はなくなつてしまふ。

日本の中だけで考えると、その中の価値観がすべてと思いがちになるけれども、外国の、全く普通の人からは違つたように見えることを示されたように思う。能率や効果ではなくて、人間を見る目をたいせつにしたいと思つた。（津守）

幼児の教育 第七十六巻第八号

八月号 © 定価二〇〇円

昭和五十二年七月二十五日 印刷
昭和五十二年八月一日 発行

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ二二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番

©本誌御購読についての御注文は発売所
所 フレーベル館にお願いいたします